

自炊訓練

自炊訓練では、3グループ（4名程度）に分かれて調理の練習をしています。メニュー決めから買い物まで全員で協力して行ないます。利用者さんと職員で力を合わせて出来上がった料理はどれもとっても美味しいですよ。



7月	8月	9月	10月	11月



医療法人 敬愛会

自立訓練（生活訓練）・宿泊型自立訓練事業所「なぎさ」

〒772-0053 徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦字高砂 14-2

TEL 088-687-0067 FAX 088-683-6363

e-mail:nagisa@i-keiai.org http://www.i-keiai.org

次の発行は、7月1日です。

なぎさ便り

2026年新年号

隣接する病院が2025年9月に新築移転し、名称を『南海病院』から『凧の音ホスピタル』に変更いたしました。個室のみのストレステアユニット（全7床）も新設されました。穏やかな海の景色を

 凧の音ホスピタル
NAGI no NE Hospital



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新しい年への期待を持ってお過ごしのことと存じます。

なぎさでは、昨年8名ずつの入退所があり、うち5名の方はグループホームやアパートなどに社会復帰されました。

隣接する母体の病院が9月に新しくなり療養環境が非常に良くなりました。以前、退所して地域生活を送っているOBの方から「なぎさを出て初めてなぎさの良さがわかった」との声をいただきました。この言葉を励みに今以上に居心地の良い、目標に取り組める環境作りに努めていきたいと思います。

私たちは、利用者さんの伴走者となれるよう寄り添って支援をしていきたいと考えますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

自立訓練（生活訓練）事業・宿泊自立訓練事業所なぎさ

管理者 森本 一樹

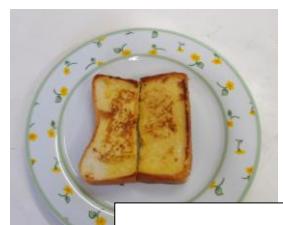


おやつ作り

「おやつ作り」のプログラムでは、一人100円の予算で『誰にでも簡単に出来るおやつ』を考えています。職員も利用者さんと一緒に楽しんで作っています。



クリーム入りどら焼き



フレンチトースト



パンケーキ



フルーツポンチ

外食レク

一人では外食に行きづらい方も皆と一緒にすることで外食を楽しむとともに、社会的マナーを身につける機会を作ることを目的に月に1回実施しています。行き先は利用者ミーティングの際に鳴門市内で行ってみたいお店を提案してくれています。

また、退所後の社会資源の発見にも役立ててくれています。

7月22日 桜ら家



8月18日 いのたに



9月29日 マクドナルド



10月20日 まるじゅう



11月10日 おとぎの国



その他の行事

ス泊レク

10月12日、鳴門市障がい者（児）スポーツ・レクリエーション大会に利用者4名が参加しました。

みんなでつなごう、宝つり、ボールわたりリレー、パン取りレースに参加して、全部の種目に参加賞として景品がついており、利用者さんのモチベーションも非常に高かったです。怪我なく、元気に参加できました。（八木）



ボッチャ大会

7月6日、徳島県央部地域ノーマピック・ボッチャ交流大会に利用者さん3名が出場しました。3名が1チームとなり【チーム特撮】とチーム名を決めていざ大会へ。1回戦は大接戦の末に勝利。勢いついたものの2回戦では残念ながら敗退。しかしながら3位決定戦では5ー0と点差をつけて勝利。見事3位入賞となりました。惜しくも県大会に進むことはできませんでしたが“この夏一番の興奮と感動だった”と皆さん話されていました。次は県大会出場を目指し練習に励みたいです。（山口）



外出レク

外出レクでは外出を楽しみながら利用者さん同士の交流を深めるとともに、マナーやルールの習得を目的に月1回実施しています。また、日々の生活の息抜きにもなっています。行き先は日曜日の利用者ミーティングで希望の多かったところや職員のおすすめの所に行ってています。

イオンモール

7月7日、七夕の日にマナー習得と気分転換を兼ねてイオンモールへショッピングに行ってきました。行く前から、皆さん立ち寄る店を決めていたようでお目当てのお店に行ってじっくりと商品を選んでいました。イオンモールの中にしかない専門店もあったりして参加した利用者の皆さんは嬉しそうでした。

昼食は、イオンモールの中のレストランやフードコートで食べてきました。（八木）



阿波おどり会館

8月4日、阿波踊りの公演の観覧に行ってきました。まずは、専属連による迫力のある阿波踊りに感動！その後女踊り、男踊りの踊り方のレクチャーを受けました。「手を挙げて足を運べば阿波踊り～」と2拍子のリズムにのって1・2・1・2…皆さん恐る恐るではありましたが楽しめている様子でした。昼食は、はま寿司でお寿司を堪能しました。（森）



防災センター

9月は「防災月間」ということで、毎年恒例の徳島県立防災センターの防災ツアーに参加しました。消火活動や暴風体験、火災時の煙体験、地震体験などの体験ができます。震度7の体験では普段体験できない揺れでしたが、実際の地震発生時には手すり等はないと思うと不安になったのを覚えています。震災に対する日頃の訓練や備えの重要性を再確認できた日でした。（三澤）



目で見る精神保健福祉展

11月18日、目で見る保健展に行きました。各事業所の展示品を見たり、パンやお菓子等を買ったり、皆さん思い思いに楽しまれていました。昼食は会場近くのえがお食堂に行きました。開店前から行列ができ、開店後はすぐ席が埋まっていました。メニューの数も多く、どれもボリュームがあり、美味しかったです。お腹も心も満たされ、充実した1日になりました。（源田）



徳島新聞印刷センター工場

10月の外出レクは、徳島新聞印刷センター工場見学に行きました。徳島新聞の日刊が作成されるまでの工程を学びました。昔は銅板を使って印刷していたものを、現在はオートメーション化されており、新聞用紙の裁断から印刷、各営業所ごとの出荷数の袋詰めまで、すべて機械が行っているのを説明を聞きながら見学し、毎日何気なく読んでいる新聞がどのように作られているのかを知ることができて、感心されました。帰りに、自分たちの見学記念の新聞を短時間で作成してくれたものをいただき、その速さにも驚かれていました。（森本）



人権フェスティバル

11月3日、ポートレース鳴門・UZUホールで催された人権フェスティバルに参加しました。会場では三つの大型企画が同時に展開され、二年前とはまた異なる空気が満ちており、活気の中にどこか温かな一体感が感じられました。利用者さんが製作した固形石鹼・粉石鹼・液体石鹼、ちりめん細工の髪飾りを販売しました。駐車場で展示されていた水素パトカーを興味深そうに見学をしたり、キッチンカーでの買い物も楽しめました。（大西）

